

会報 いわて



一般社団法人
岩手県臨床衛生検査技師会



2023 年度 定時総会が開催されました

WEB 開催となり、全件原案通り承認されました。
参加した皆様、お疲れさまでした。



今年度より岩手県臨床検査技師会 会長に就任した高橋 一博会長より挨拶頂きました。

(い わ て)



この度、令和5・6年度の会長に就任致しました岩手県立中央病院 臨床検査技術科の高橋一博と申します。

日頃、会員の皆様には岩臨技の会務に対しまして多大なご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当会は臨床検査技師及び衛生検査技師の制度・身分の確立及び学術・技術の向上並びに相互団結の充実を図り、もって検査技師の職能意識を高めることにより、県民の健康増進及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とした団体であります。

2020年から続く新型コロナウイルス感染症では多くの会員がPCR検査や感染制御に従事して参りました。同時にがん、脳卒中、心血管疾患の3大疾病や救急医療、周産期医療、日常診療等においても必要とされる検査を適切に行い、県民の医療・健康増進に寄与しております。

啓蒙活動と致しましては毎年秋に「検査と健康展」を開催して参りました。現時点では安比リレーマラソンへの参加については決まっておりませんが、啓蒙活動や会員相互の親睦に繋がる活動が徐々に出来ることを願っております。

また、新型コロナウイルスの感染拡大により一時中止をされていた学術的な研究、調査及び研修はWebを使用したハイブリッド開催やオンデマンド開催が行われるようになり、今後は集合による研修会や学会も開催していく予定です。

臨床検査を取り巻く状況は大きく変わり、過去には検査室での業務が多くを占めておりましたが、現在ではこれに加えて採血や医師の業務軽減のためのタスクシェア/シフトなど、診察前の問診や病棟、放射線科、内視鏡室での業務も行われております。

岩臨技執行部の動向と致しましては令和5・6年度に長らく岩手医科大学付属病院 中央臨床検査部内に置かれていた事務局を外部の賃貸物件に移転する予定で準備を進めております。

最後になりますが、医療や臨床検査を取り巻く変化に柔軟に対応し、良質で安全・安心な医療を県民の皆様と共に提供していきましょう。

どうぞ会員皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。



2023 年度（一般社団法人）岩手県臨床衛生検査技師会

定時総会 議事録

日時：2023 年 5 月 27 日（土曜日）午後 13 時 00 分～

会場：Web 開催 岩手医科大学付属内丸メディカルセンター技師研修室から配信

2023 年度定時総会次第

- 1, 開会の辞
- 2, 会長挨拶
- 3, 議長選出
- 4, 総会役員選出 資格審査委員・議事運営委員・書記・議事録署名人
- 5, 総会成立の確認
- 6, 議事
 - 承認第 1 号 2022 年度事業について
 - 承認第 2 号 2022 年度決算について
 - 承認第 3 号 2022 年度監査
 - 第 1 号議案 2023 年度事業計画（案）について
 - 第 2 号議案 2023 年度予算（案）について
 - 第 3 号議案 2023・24 年度理事・監事の選任（案）について
- 7, 総会役員解任
- 8, 議長解任
- 9, その他
- 10, 閉会の辞

【議事録】

1. 開会の辞

定刻、事務局下川波歩は、本定時総会は Web 会議システムを用いて開催する旨宣言し、Web 会議システムにより、出席者の音声が届く座に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した上で開会を宣言した。

2. 会長挨拶

3. 議長選出 議長 安藤 早苗（県立二戸病院）

事務局より提案され、全会一致で承認

4. 総会役員選出

議事運営委員 : 川村 将史(岩手リハビリテーションセンター)

資格審査委員 : 熊谷 正邦(岩手県立軽米病院)

書記 : 藤倉 由規(岩手県立久慈病院)

議事録署名人 : 千枝 貴幸(岩手医科大学付属病院)

菊池 英岳(岩手県立江刺病院)

5. 総会成立の確認

会員 551 名 出席者 31 名 委任状 295 名

(い わ て)

以上、出席者と委任状合わせて 326 名で過半数 (293 名) を満たしており、総会は成立。

6. 議事

承認第 1 号 2022 年度事業について

一般経過報告

菊池英岳 会長

事業報告

1) 総務部

畠山秀樹 副会長

- ① 会員名簿は、2 年毎に更新発行していたが、個人情報の観点より発行を見送ることにした。
- ② ホームページに、会員に必要な研修会等の情報を発信した。サイボウズについても理事、地区会長、部門長などをメンバーとし、連絡ツールとして有効利用した。
- ③ ミーティング用ツール「webex」を使用していたが、会員の方々も慣れていることから、「zoom」ミーティングを契約し、会議、研修会等に使用した
- ④ 会員の親睦については、新型コロナの影響で実現できなかった。

2) 学術部

高橋一博 副会長

- ① 第 25 回医学検査学会
- ② 第 28 回岩臨技精度管理調査
- ③ 各部門主催研修会

3) 各研究部門

下川波歩 事務局長

4) 公益部

川村将史 常務理事

5) 生涯教育研修部

畠山秀樹 副会長

6) 精度管理部

菊池英岳 会長

7) 書記・会報部

藤倉由規 理事

8) 地区技師会・事業部

書面参照

承認第 2 号 2022 年度決算について

櫛桁久美 常務理事

収支決算書 (2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで)

収支計算書に対する注記

財産目録 (2023 年 3 月 31 日現在)

貸借対照表 (2023 年 3 月 31 日現在)

正味財産増減計算書 (2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで)

承認第 3 号 令和 4 年度監査報告書について

井上幸男 監事

以上承認第 1 号、2 号、3 号とも質疑なく、それぞれ賛成多数で承認された。

第 1 号議案 2023 年度事業計画 (案) について

菊池英岳会長

○事業計画 (案)

1) 総務部

畠山秀樹 副会長

2) 学術部

高橋一博 副会長

3) 各研究部門

下川波歩 事務局長

4) 公益事業部

川村将史 常務理事

5) 生涯教育研修部

畠山秀樹 副会長

6) 精度管理部

千葉拓也 理事

7) 書記・会報部

藤倉由規 理事

(い わ て)

8) 各地区・事業計画

書面参照

第2号議案 2023年度収支予算(案)について

櫛桁久美 常務理事

(2023年4月1日から2024年3月31日収支予算書)

第3号議案 2023・2024年度理事・監事の選任案について

下川波歩 事務局長

2023・2024年度理事・監事氏名、所属の提示・画面で共有した(後記の通り)

以上第1号、2号、3号議案とも質疑なく、それぞれ賛成多数で承認された。

7. 総会役員解任

議長がすべての議事が終了したことを告げ、総会役員を解任した。

8. 議長解任

9. その他

岩手県医学検査学会について

10. 閉会の辞

以上、Web会議システムを用いた定時総会は、終始異常なく議事がすべて終了したので、事務局下川波歩は、午後2時00分閉会を宣言した。

以上議事録に相違ないことを確認しました。

2023年5月27日

総会議長

安藤 早苗

議事録署名人

千枝 貴幸

菊池 英岳

第3号議案補足 2023・2024年度理事・監事氏名は以下のとおりである。

理 事	高橋 一博	(重任)
理 事	川村 将史	(重任)
理 事	千葉 拓也	(重任)
理 事	熊谷 正邦	(重任)
理 事	藤倉 由規	(重任)
理 事	山根 修一	(重任)
理 事	中沢 和浩	(重任)
理 事	朝岡 千佳子	(重任)
理 事	熊谷 公代	(新任)
理 事	新沼 美穂子	(新任)
理 事	鈴木 知子	(新任)
理 事	佐々木 まゆみ	(新任)
理 事	浅沼 匡介	(新任)
理 事	千葉 寛	(新任)
理 事	小野寺 奈緒	(新任)
監 事	菊池 英岳	(新任)
監 事	櫛桁 久美	(新任)

令和 4 年度 第 6 回理事会議事録

日 時 : 令和 5 年 5 月 27 日 (土曜日)

場 所 : 岩手医大内丸メディカルセンター技師研修室および WEB 開催

出席者 : 菊池英岳、畠山秀樹、高橋一博、川村将史、櫛桁久美、熊谷正邦、藤倉由規、
下川波歩、行森良一

WEB 参加 : 中沢和浩、岡田進、

欠席 : 山根修一 藤原教徳

議事内容

(1) 2023 年度 岩手県臨床衛生検査技師会定時総会について

(2) 事務局運営について

(3) 岩手県学会について

2023 年度 岩手県臨床衛生検査技師会定時総会について

1、 進行打ち合わせ

○総会役員について

資格審査委員：熊谷正邦理事、議事運営委員：川村将史理事、書記：藤倉由規理事、
議事録署名人：菊池英岳常務理事、千枝貴幸にお願いします。

○議長について

安藤早苗氏（県立二戸病院）にお願いした。

○進行は例年通り進行する

○会報部の印刷は、web 掲載することで、印刷費 350,000 はなしとする。総会の是非を確認が必要なことから、議案書はそのままの記載にする。

○その他

菊池会長より

タスクシフト講習会について

年間 2 回を目標としている。

2、 事務局運営について

下川波歩事務局長より

○事務局は、医大の研修室の一角を借りているが、他の都道府県では病院等に置くことは少なく事務所あるいはアパートマンション等借りて行っている。

もし借りるとなると、賃貸料+光熱費で年間 150 万円くらいを想定し、物件を探している。

できれば、駐車場付きで探したい。

3、 岩手学会について

菊池英岳（会長）

担当は、北部地区ではあるが、北部会長の熊谷正邦理事とも話したが、人数的にも厳しい状況の為、他のブロックからも協力して行いたい。（前回の盛岡地区、近隣の宮古地区にも協力をお願いしてはどうか？）

学会テーマ、開催形式も、まだ決まっていないので、今後協議する。

令和 5 年度 第 1 回理事会議事録

日 時 : 令和 5 年 5 月 27 日 (土曜日) 15 時 00 分
場 所 : 岩手医科大学附属内丸メディカルセンター技師研修室および Web 開催
現地出席理事: 高橋一博、小野寺奈緒、浅沼匡介、熊谷正邦、藤倉由規、川村将史、熊谷公代
Web 出席理事: 佐々木まゆみ、千葉寛、鈴木知子、中沢和浩、新沼美保子、朝岡千佳子
欠席理事 : 山根修一、千葉拓也
現地出席監事: 菊池英岳
Web 出席監事: 櫛桁久美
アドバイザー: 畠山秀樹
事務局: 下川波歩
会計: 千枝貴幸、佐藤昂

- 1、開会
- 2、理事、監事自己紹介
- 3、議事
 - 1) 会長、副会長。常務理事の選出について
 - 2) 令和 5 年度、6 年度の役割分担について
 - 3) タスクシフティング研修会について
 - 4) 各事業部について
 - 5) 事務局体制について
 - 6) その他

- 4、閉会

- 5、

議事の経過の要領およびその結果

理事及び幹事全員の同意を得て、招集手続きを省略して理事会を収集し、理事及び幹事全員の同意を得て、理事会を開催した。

- 1、開会 (下川)

本日は理事 15 名のうち、13 名の方々に参加を頂いており、過半数を超えているので定款 38 条の規定により会議が成立していることが報告された。

- 2、理事、監事の自己紹介

理事の自己紹介

- 3、議事

- 1) 会長、副会長。常務理事の選出について

下川波歩事務局長より、定款第 25 条第 2 項の規定により「理事のうち 1 名を会長・2 名を副会長、常務理事を 2 名おくこととされており、その選出は理事の互選による」旨の発言があった。互選の方法については事務局に一任とされた。事務局案として、高橋理事を会長に、千葉寛理事と小野寺理事を副会長に、佐々木理事と川村理事を常務理事に推薦された。なお、被選任者は席上その就任を承諾のうえ全会一致で承認された。

(い わ て)

2) 令和5年度、6年度の役割分担について

役員	氏名	担当	施設名
会長	高橋 一博	会務全般	岩手県立中央病院
副会長	千葉 寛	生涯教育研修部長	盛岡市立病院
副会長	小野寺 奈緒	学術部長	岩手医科大学附属病院
常務理事	川村 将史	公益事業部長、盛岡地区会長	いわてリハビリテーションセンター
常務理事	佐々木まゆみ	総務部長	岩手県立宮古病院
理事	浅沼 匡介	会計部長、HP 担当	盛岡赤十字病院
理事	千葉 拓也	学術部、精度管理部長	岩手医科大学附属病院
理事	熊谷 正邦	総務、北部地区担当（会長）	岩手県立軽米病院
理事	藤倉 由規	書記、会報	岩手県立久慈病院
理事	鈴木 知子	総務、中部地区担当（会長）	岩手県立江刺病院
理事	山根 修一	公益	岩手県立遠野病院
理事	中沢 和浩	総務、南部地区担当（会長）	岩手県立千厩病院
理事	熊谷 公代	書記、会報	岩手県立大東病院
理事	新沼 美穂子	総務、三陸地区担当（会長）	岩手県立釜石病院
理事	朝岡 千佳子	学術部、精度管理	せいてつ記念病院
事務局長	下川 波歩	事務全般	岩手医科大学付属内丸メディカルセンター
監事	菊池 英岳		岩手県立江刺病院
監事	櫛桁 久美		医療法人日新堂 八角病院
会計	千枝 貴幸		岩手医科大学付属内丸メディカルセンター
会計	佐藤 昂		岩手県立中央病院
アドバイザー	畠山 秀樹		岩手県予防医学協会

上記について提案され承認された。

3) タスクシフティング研修会について（千葉 寛）

今年度は、8月を予定している。最低でも50名確保を目標。講習会参加には、座学を終了している人に限ることから、現在県内で座学終了している人は29名＋前回コロナの為不参加の1名で計30名です。座学受講中は、51名ですが、応募者が少ない場合は、県外にも募集をする。（今現在、県外からの申込みは不可となっています）

今年度は2回考えているが、講師の医師、看護師確保するのも大変な為、できれば中止せずに実施したい。

4) 各事業部について

総務部 : 佐々木 まゆみ＋浅沼 匡介＋畠山 秀樹

ホームページ更新（主に研修会のお知らせ、求人情報等）

畠山 秀樹アドバイザーと佐々木 まゆみ（常務理事）、浅沼 匡介理事の3人で日程調整して実際に作業行う。

(い わ て)

学術部 : 小野寺 奈緒 副会長

研修会開催フローやマニュアルはwebex から zoom に変わった時に更新していないため、作成し直して部門長に提示する。

他、日当、謝礼等についても同様

第2回の常務理事会に継続案件とする

公益事業部: 川村 将史 常務理事

健康展については、令和5年11月中旬でやはばパークを予定。

エコーの機器を使ってクイズ形式を考えている。

6/28 マイナビ進学ライブに参加(日臨技からの依頼)

安比リレーマラソンについて、申し込みは7月だがコロナ感染状況次第

生涯教育部: 千葉 寛 副会長

日臨技助成制度を利用しているが、申し込み人数を少な目に申請すると、規定の人数になるとロックがかかり、その後に変更するのが難しいので、

あらかじめ規定人数を、zoomの100回線にあわせて100人にすることも...

研修会の3月の研修会開催は、申請手続きが大変なため避けてほしい。各部門長にも周知する。

精度管理部: 千葉 拓也 理事(代理下川)

これまで通り、実施していく

書記会報部: 藤倉 由規 理事

新たに熊谷公代理事が書記会報部の担当となった。

会議の議事録作成の為、常務理事会に参加する。

会報も、今まで通り行い、岩臨技ホームページに更新する。

5) 事務局体制について(下川)

会計担当が退職に伴い1名減で行っていたが、今年度より新たな会計担当が決まり、2名体制で会計業務を行う。

事務局の事務所は、物件を探しています。広さがあると、レンタル倉庫分の費用が浮くのである程度の広さは必要と思われる。

6) その他

・岩手県医学検査学会について(高橋 一博会長)

担当は北部地区ですが、人的・時間的にも厳しいので前年度(盛岡)と今年度で協力して行っているかどうか?さらに、近隣の三陸地区の協力もお願いしてはどうか?

今後、担当の北部地区と前年度の盛岡地区、翌年度の三陸地区の担当者と協議する。

昨年は、オンデマンド方式だったので、今年度は未決定だが山田プランニングにも確認してみる。

・日臨技定期総会について(菊池監事)

岩手県の日臨技定期総会議決権行使率は、昨年度62.7%程度。

投票率により、県に支払われる金額が変わるので、各施設で投票を促す。

・メールアドレスの扱いについて(川村常務理事)

私物メールの区別が必要になると思います。

(い わ て)

今の時代背景にあったメールの使い方をしなければならないので、各個人に許可を得たうえで使う必要があると思われる。理事会として、継続案件としたい。03

4、閉会（下川）

以上を持って理事会の議案を終了し 17 時 45 分に閉会を宣言した。

令和 5 年 5 月 27 日

代表理事 高 橋 一 博

出席監事 菊 池 英 岳

出席監事 櫛 桁 久 美



監事 菊池 英岳氏より投稿いただきました。

医療関連サービス実地調査に参加して

3月24日、盛岡のDPRに実地調査員として調査に参加してきました。今回は福島1人、岩手2人で行いました。作業の流れは、前回同様チェックシートに基づき、聞き取り・書類の確認・現場確認を手分けしながら行いました。調査されるDPRの方は何度か経験しているので慣れていましたが、調査する側が不慣れなため同じことを何度も聞いたりとんちんかんなことを聞いて失礼かけました。病院とは違うのでそういう視点で見なければならないことは承知していましたが、なかなかうまくできない不甲斐なさを感じてきました。つい病院側の立場で話をしてしまっていて配慮に欠けたこともあったと思います。DPRの方には寛大な対応して頂き感謝申し上げます。

4月5日、仙台の日本微生物研究所に行ってきました。今回は、秋田1人、岩手2人でした。ここは、病院からの検体だけではなく食料品の検査しているので普通の検査センターとは一味違っていました。病院では手洗いの後はペーパータオルで拭くことが当たり前ですが、ここではエアーシャワーで仕上げていたことにびっくりしてしまいました。視点を病院ということだけではいけないということを今回の調査で痛感しました。柔軟性をもって対応することの必要性も感じさせられた調査でした。対応して頂いた担当者に感謝申し上げます。

県立胆沢病院 菊池英岳

(い わ て)

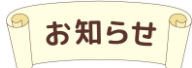
2023年全国都道府県会長連絡会議

4月22日(土)、川崎デルタステーションコンファレンスにて全国臨床衛生技師会会長会議が開催され出席してきました。今年度から新たに始められた事業で、これまで全国の都道府県会長が会して話し合うことがなかったため、日臨技と都道府県技師会の連携強化のために開催されました。午前中に理事会が開催され2023年度の事業計画が協議され、その報告がメインでした。全国から集まるので、それぞれの悩みや疑問などを出し合って情報交換の場になるのかと期待していましたが、発言する場は少なく残念でしたが、終わってからメールでも受け付けるということで、後日メールで何点か質問しました。今回は2時間足らずの会議だったので自己紹介もすることなく淡々と終わった感じでした。理事と会長を兼ねているところもあるので、合同会議にして時間をもっと取って話し合えばもっと有意義な会議になれたと思いました。今年度もう一回開催する予定と聞きましたので、もう一步踏み込んだ交流出来ればと感じて帰ってきました。

県立胆沢病院 菊池英岳



研修会・講習会情報



第2回 タスク・シフト／シェア実技講習会

開催日 : 2023/08/20 (日)
開始時刻 : 9:30
終了時刻 : 17:30
場所 : 岩手県立中央病院 大ホール他

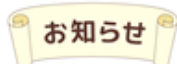
岩臨技では、第2回タスク・シフト／シェア実技講習会の開催を予定しております。
この実技講習会は、最低50名の受講者の確保が開催条件となっております(定員60名)。

この実技講習会は最低50名の受講者の確保が開催条件となっているため、7月より北日本支部全域に募集地域を拡大しました。

岩手県内会員の皆様におかれましては、早めの参加登録をご検討いただきますようお願い申し上げます。

尚、受講料の入金締め切りは8月10日(木)となっております。締め切り後の入金は、如何なる理由でも認められておりませんので、入金忘れのないようご注意ください。

(い わ て)



令和 5 年度 第 1 回感染制御部門研修会

【日 時】 2023 年 8 月 24 日 (木) 18:00 ~ 19:00

【参加費】 会員、非会員ともに無料

【内 容】

接続開始 17:50~

18:00~18:20

講演 1. 「(仮) CLSI ドキュメントの変更点について」

ベックマンコールター株式会社 高相 道忠 氏

18:20~18:40

講演 2. 「グラム陽性菌の同定検査について」

岩手医科大学附属病院 中央臨床検査部 遠藤 謙太郎 技師

18:40~19:00

講演 3. 「グラム陰性菌の同定検査について」

岩手県立中央病院 臨床検査技術科 塩越 真由美 技師

参加方法

・ 日臨技会員は必ず日臨技 HP より事前参加登録が必要です。非会員の方は担当者へお問い合わせください。

日臨技生涯教育点数：専門 20 点

・ 生涯教育点数を希望される方は、参加ログにて出欠確認を行いますので Zoom 入室時に「施設名・氏名（フルネーム、複数の場合は人数）」の入力をお願いいたします。

・ レポートの提出は不要です。

【問合わせ先】

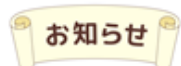
岩手県立中央病院 臨床検査技術科 塩越真由美

TEL：019-653-1151（内線 2237）

E-mail：mshiokoshi@gmail.com



(い わ て)



令和 5 年度 岩臨技第 1 回病理・細胞検査部門研修会

【日時】 令和 5 年 8 月 26 日(土曜日) 13:30 ~ 17:55

【会場】 盛岡赤十字病院 2 階 会議室

【参加費】 日臨技会員無料、非会員 1,000 円

司会：岩手医科大学附属病院 病理診断科 肥田野靖史

講演 1. 「消毒の基礎と日常業務における感染症対策」 13:30~14:15

講師：岩手医科大学附属病院 中央検査部 成田 和也 技師

講演 2. 「有機溶剤と特定化学物質の管理」 14:15~14:55

講師：岩手医科大学附属病院 病理診断科 肥田野 靖史 技師

講演 3. 「当院における ISO に基づいたリスクアセスメント」 14:55~15:35

講師：岩手医科大学附属病院 病理診断科 高橋 静子 技師

休憩 15:35~15:45

講演 4. 「当院における ISO に基づいた毒劇物の管理」 15:45~16:25

講師：岩手医科大学附属病院 病理診断科 上田 奈央子 技師

講演 5. 「令和 5 年度認定病理検査士試験対策」 16:25~17:10

講師：岩手県立中央病院 検査技術科 佐藤 昂 技師

講演 6. 「細胞診検査士の日常業務と研究環境の両立」 17:10~17:55

講師：岩手医科大学附属病院 病理診断科 山田 範幸 技師

【日臨技生涯教育点数】 専門 20 点

【認定病理検査技師更新単位】 D40 点（承認番号 23-0005）

【主催】 一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会

【問い合わせ先】 岩手医科大学附属病院病理診断科 肥田野 靖史

TEL：019-613-7111（内線 2381）

Mail：derby1403@yahoo.co.jp



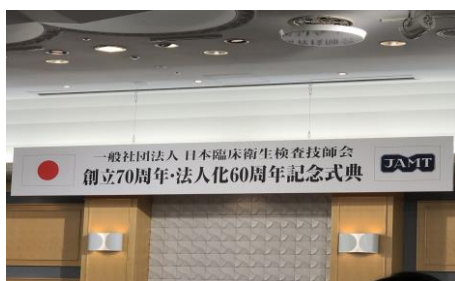
(い わ て)



厚生労働大臣表彰されました

過日の6月24日に開催されました、日本臨床衛生検査技師会の創立70周年・法人化60周年記念式典において、当会の行森良一氏、菊池英岳氏の両名が【厚生労働大臣表彰】を受賞されました。

この厚生労働大臣表彰は、臨床検査業務や公衆衛生活動に長年貢献した方に贈られるものです。改めまして誠におめでとうございます。



○厚生労働大臣表彰を受賞された生森良一氏、菊池英岳氏のおふた方より挨拶いただきました。

厚生労働大臣表彰受賞について

この度は、身に余る厚生労働大臣表彰を受賞させていただきました。

この賞は、多年にわたり臨床衛生検査業務を通じて国民医療の向上発展に寄与されたことに対する表彰です。臨床検査技師として病院勤務と同時に、(一社)岩手県臨床衛生検査技師会の事務局・理事として、20年近く技師会活動に携わってきたことが評価されました。

今回の受賞にあたり、日臨技、北日本支部、また共に活動してきた岩手県臨床衛生検査技師会会員の皆様へ心より感謝、御礼申し上げます。

本当にありがとうございました。



岩手医科大学附属内丸メディカルセンター
行森 良一

(い わ て)

厚生労働大臣表彰受賞して

6月24日、日臨技定期総会が行われた後、創立70周年・法人化60周年記念式典が開催され、厚生労働大臣表彰、記念講演、祝賀会が行われ出席してきました。式典では厚生労働大臣や日本医師会、医療関連団体の代表、歴代の会長などが来賓としてあいさつを頂きました。表彰では賞状と記念品(金杯)を頂きました。

厚生労働大臣表彰は全国で80人が表彰され、岩手からは前会長のわたしと前々会長の行森さんが受賞の対象となりました。

式典はこれまでコロナ禍で出来なかった現地での対面式で行われ、これまで zoom で画面越しでしか会えなかった方と直接会ってお話をしたり、同級生もいて急遽ミニ同級会となったり楽しい時間を過ごすことができました。受賞は、私にとって場違いなところで、畏れ多い賞を受賞するには相応しくない身分なので恐縮な気持ちでいっぱいでした。

会長として任期も短く実績ありませんでしたが(行森さんは別です)、会員や役員の方々のおかげで任期を全うすることができました。この会報を見ている会員の皆様と理事役員の皆様に改めて感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。



菊池英岳



(い わ て)

○マイナビ進学ライブ 2023in 盛岡に参加された川村 将史氏より報告いただきました。

2023 年 6 月 28 日

「マイナビ進学ライブ 2023in 盛岡」に参加して

(一社) 岩手県臨床衛生検査技師会 公益事業部長 川村 将史

2023 年 6 月 28 日 (水) に岩手県盛岡市のタカヤアリーナにおいて、「マイナビ進学ライブ 2023in 盛岡」が開催され、(一社) 日本臨床衛生検査技師会からの依頼かつ、岩臨技の公益事業部の活動の一環として参加してきました。

参加者は岩手県内の高校生 1 年生から 2 年生までで、「809 名」が参加されました。

本企画は、大学と、専門学校側からの説明会を学生が好きなブースを見て歩くスタイルでした。

その中のブースの一角に「社会人アドバイザー」のブースが設けられていました。職種は保育士、事務職、理学療法士、臨床検査技師の四職種でした。それぞれの職種の実際に仕事をしている人達の話が聞けるブースになっていました。そして私は臨床検査技師の社会人アドバイザーとして参加しました。当日は盛岡地区技師会 事務局の三田隼士 (盛岡市立病院) さんにもお手伝いとして参加していただきました。

私たちが高校生に資料を手渡しして臨床検査技師を説明できた学生は 31 名でした。

その中で、実施に臨床検査技師になりたい学生も数名いましたが、医療系には進みたいけど何になりたいか決めかねている学生もいました。そこで、臨床検査技師の業務の説明や、同じブースの理学療法士の業務などその学生が進みたい進路の一助となれたらと思ひ話をしてきました。業務のほかに、学校の種類 (岩手県には学校はない話もしました!) や、給料などにも興味を示していましたので詳しく説明してきました。

学生の皆さんは予想以上に真剣に話を聞いてくれました。こちらの良い経験をさせていただきました。

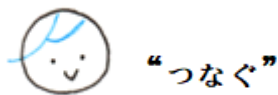
将来、一人でも多くの臨床検査技師が誕生し、岩手県に戻ってきてくれることを願っています。

以下、今回の岩手県内の参加高校です。

- ① 共和学院水沢第一高等学校
- ② 紫波総合高等学校
- ③ 江南義塾盛岡高等学校
- ④ 岩手女子高等学校
- ⑤ 盛岡中央高等学校
- ⑥ 花巻東高等学校



(い わ て)



今回の『つなぐ』は、諸事情によりお休みします。



～編集後記～

コロナの感染症法上の位置づけが「5類」に変わり、マスクの着用も個人の判断に任せられ、コロナ禍前の生活に戻りつつあります。しかしながら、まだ収束したわけではないので引き続き注意が必要だと思っておりますので、今後も引き続き、感染対策にご注意を…。

今回の会報は、議事録、研修会、表彰等で内容が盛りだくさんになってしまいました。

(fuji)

会報「いわて」第 342 号 2023.7

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人：

会 長：高橋 一博

事 務 局：下川 波歩

編集責任者：熊谷 公代

藤倉 由規

〒020-8505 盛岡市内丸 19-1 岩手医大中検内

Tel. (019)613-6111 内線 3699 Fax. (019)654-8510

<http://www.iwateamt.or.jp/>

会報専用メールアドレス：

kaiho@iwateamt.or.jp